

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社エフピコ 神辺工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市神辺町旭丘2-2番地

(3) 業種

硬質プラスチック発泡製品製造業(1842)

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30(2018)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 「環境経営五ヵ年計画」を整備し、生産、物流、オフィスのそれぞれの部門で環境負荷低減の目標を定め、取り組みを実施。
2. 「環境経営新中長期計画エフピコエコアクション50(FPEA50)」を策定し、製品開発、生産、物流、オフィス、販売と取り組みの幅を拡大させ、またサプライヤーも含めたエコバリューチェーン構築を進めている。
3. 製品開発、生産、物流、オフィス、販売部門の各ワーキンググループのCO2削減実績のチェックと、更なる削減を目指した戦略を練る環境戦略会議を4半期に1度実施。年に1度経営層によるマネジメントレビューも実施する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成30(2018)年度	令和2(2020)年度
二酸化炭素	12,423	11,204

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)		削減目標		目標年度 (令和 () 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO2						0
非エネルギー起源CO2						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
その他 温室効果ガス						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量		-				0
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産重量(トン)**

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30(2018)年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和7(2025)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	12,423	14,148	0.88	8.0	12,200	15,000	0.81
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	12,423	14,148	0.88	8.0	12,200	15,000	0.81
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.35	5.7	-	-	0.33
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = $\{(c) - (g)\} / (c) \times 100$ 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の原単位を4%削減	・生産機械のサーボ化
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

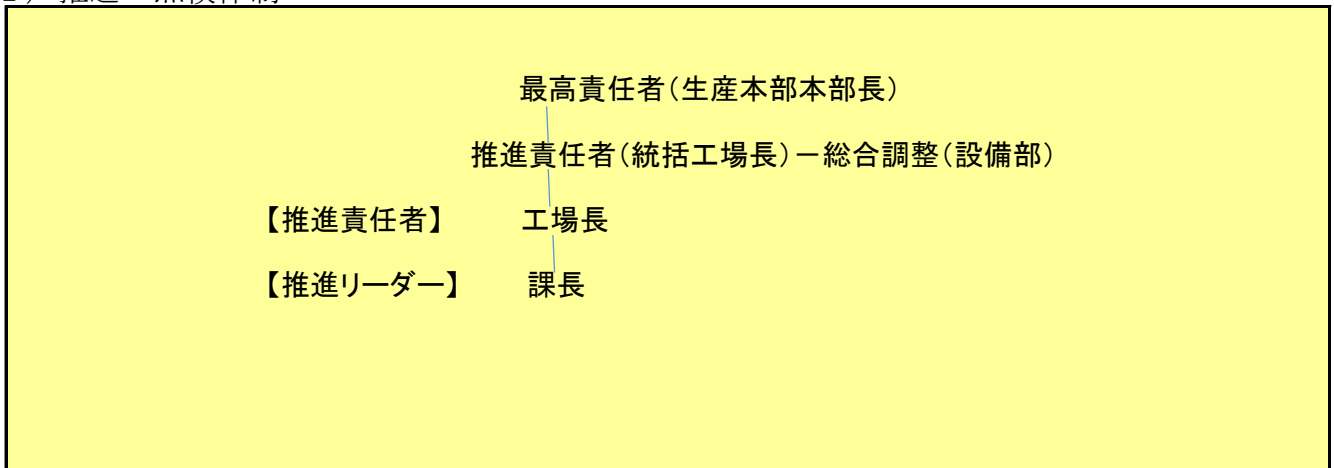
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理員を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境戦略会議にて削減実績のチェックと見直し等を4半期毎に行う。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する。

